



The Service Club for the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU

Affiliated with the International of Y's Men's Clubs Chartered 1950

c/o YAMANASHI YMCA 4-11-5, Chuo Kofu 400-0032 Japan
Tel 055-235-8543

甲府ワイズメンズクラブ 2016年7月 プリテン

別刷特集

第19回東日本区大会 @ 長野



お土産
は「七味」

6月3日 ゴルフ・役員会・前夜祭

東日本区理事杯争奪ゴルフコンペ

東日本区長野大会前日の6月3日、長野市上ヶ屋の長野カントリークラブにおいて、北見クラブをはじめ9クラブ、15名の参加により理事杯争奪ゴルフコンペが開催されました。市内から車で30分、標高1120m、飯綱高原のなだらかな丘陵地に樹齢60年のカラマツ林と白樺、松の豊かな林に囲まれたチャンピオンコース。

絶好のゴルフ日和に恵まれ和気藹々の中にも真剣にプレーに取り組みました。当クラブからの3人の参加者(田中司郎、渡辺徳之、済本文雄)は、いずれもグリーンを取り巻くバンカーに苦しみ、日頃の実力が発揮できず上位入賞に届くことが出来ませんでした。

前夜祭において、渡辺隆東日本区理事より優勝杯を受け取ったのは北見クラブの古賀勝巳ワイズでした。当クラブの渡辺徳之ワイズはニアピン賞を獲得しました。(済本)



大会までの甲府クラブのお手伝い

平成26年6月9日(火)の甲府クラブ6月例会で、東日本区次々期理事の渡辺隆さんから平成28年の東日本区長野大会を手伝ってほしいと相談があり、次々期理事を応援する事で了解をした。

◎同年7月16日(水)、長野クラブキックオフ例会に出席し、長野大会をサポートすることを約束した。

◎同年12月17日(水)、第1回長野大会実行委員会が開かれ、大会期日、会場、大会役員担当を決定。

◎平成27年3月1日(日)、実行委員会でスローガンを決定。

「ワイズにひかれて善光寺」

～原点に立ち未来の扉を開こう～

◎同年4月15日(水)、実行委員会でチラシ、横断幕を決める。

◎同年12月16日(水)、実行委員会で、前夜祭の会場、式典前後のプログラム等を決定。

◎平成28年1月31日(日)、拡大実行委員会が行われ、甲府クラブから11名が出席し、若里ホールを下見。

◎同年2月28日(日)、実行委員会で内容、スタッフの人数などを決める。

◎同年3月13日(日)、大会進行表作りが始まる。

◎同年3月27日(日)、若里ホールの下見と大会進行の打合せ。会場メルパークで晚餐会の下見と打合せ。

◎同年4月20日(水)、若里ホールで打合せ。

◎同年5月17日(火)、若里ホールでステージ打合せ。

◎同年5月22日(日)、玄証院で司会者とコメント合せ。

◎同年5月29日(日)、実行委員会最終打合せ(甲府クラブから6名参加)。

◎同年6月3日(金)、東日本区長野大会ステージ・受付・他前日仕込み。

※2年間に渡り準備をしてきました。多少ミスがあったものの、まずまず成功したと思います。大会にかかわったスタッフの皆様ありがとうございました。(武田)

4日の午前中 代議員会・メネットアワー

ワイズメネットアワーに参加して

第19回東日本区大会には甲府クラブから7名のメネット（秋山、荒川、大澤、標、武田、鶴田、小倉）が参加しましたが、区大会受付のお手伝い等もあり、大澤メネットと私がクラブを代表してメネットアワーに出席しました。

メネットアワーでは今期の事業報告や委員長引継式、昼食会&お楽しみ講演等が和やかに行われました。詳細は区報に譲りますが、利根川恵子メネット委員長（川越クラブ）は「今期のメネット活動に感謝すると共に、次期は区理事の立場でメネット事業を更に支援するので、メンの活動へのサポートを宜しく。」と挨拶をされ、相磯優子次期メネット委員長（沼津クラブ）は「3年前に山梨で開催されたメネットの集いに参加した時の楽しい経験がきっかけでメネットの活動に参加するようになった。」と嬉しいエピソードを話して下さいました。

信州ならではの『きのこ弁当』を美味しく頂きながら拝聴した「生みだされた『幸村』のイメージ」と題した長野県文化振興事業団学芸員の伊藤羊子様の講演も「実在の真田信繁(のぶしげ)の武者振りが、後世に幸村(ゆきむら)と名前を変えて物語として語り継がれている。」等々の興味深い話でしたし、利根川委員長を始めホストクラブ（長野）の皆様『お・も・て・な・し』に感激したメネットアワーでした。（小倉メネット）

年次代議員会に出席して

代議員会は、6月4日（土）AM10:30丁度に渡辺東日本区理事の開会点鐘でスタートしました。まず初めにこの会が持つ重要な役割の説明があり、昨年度一年間ご苦勞頂いた田中直前理事が、昨年度の東日本区の決算報告をしました。

さて昨年度の報告が終わると、今年度の渡辺年度の年次報告があり、既に忘れかけている事業等も多数ありましたが、議案の報告とともに、今年度の種々な事業の思い出が走馬灯のように頭の中をかけ巡りました。これからの甲府クラブの活動に生かしたいと思いました。

次に二子石会計より中間決算報告がありました。そして、次期東日本区役員の発表があり、次期理事は川越クラブの利根川恵子さん、2017～18年度は熱海クラブの栗本治郎さん、2018～19年度は東京武蔵野多摩クラブの宮内友弥さんに決定すると同時に、参加者注目の第21回東日本区大会の開催地(ホスト)も沼津クラブに決定しました。

代議員会の議案の中で、特に印象に残ったのは、渡辺理事からの提案です。前年度の事業を終了してから、ほぼ1年後に決算承認を受けるという事に対して、資料を郵送してでも、もっとスピードアップして早い段階での承認することが必要であると提案があり、私も同意見でした。最後に、開会式のセレモニーへの協力を森本大会委員長より重ねて説明があり、参加代議員全員が大会の成功を誓って、開会式会場に向かいました。（秋山）



4日午後 東日本区アワー I プレゼンツ

4日朝7時、山梨YMCAを露木会員（主事）の運転で出発した、大沢夫妻、遠藤、内藤、石川の計6名は、二時間強で会場の若里市民ホールに到着。早速ピンクのTシャツに着替え、前日から長野入りしたメンバー、別に集まったメンバーとともに受付等の準備に入った。



各地からの参加者を迎え、午前にはメネットアワー、主事会、ユースの会、代議員会が並行して開かれる。ロビーでは、各地の産物販売、活動写真の展示など。再会を喜ぶ各地の会員、メールのやり取りはあるものの初顔合わせで挨拶を交わす会員など、活気がある。

交替で昼食をとるが、数が足らず、丹後会員が買い出しに走る、とか、武田会員が舞台上で転倒して負傷するなどのトラブルを乗り越え、いよいよ開会。

長野少年少女合唱団が歌う「夕焼け小焼け」や「緑のそよ風」のオープニングに続き、バナーセレモニー。開会式では、渡辺理事の開会点鐘、長野クラブ塩入会員の祈祷と進み、歓迎の言葉の長野クラブ塚田会員は、このホールを作った時(長野オリンピック時)に長野市長だった方。YMCA同盟総主事、アジア地域会長のエドワードさんらの祝辞、スライドを使ってのメモリアルアワーと肅々と進む。

いよいよ東日本区アワーが始まる。渡辺理事の挨拶と年次報告、仙洞田書記から年次代議員会報告が行われた。内容に触れだすときりがないので省略するが、主題の「未来へステップ」を実現すべく奮闘した一年であることが伝わってきた。ことに二つの新クラブの設立は特筆される出来事であろう。

各部の部長からの報告は、限られた時間を生かすようスライドを有効に使い、わかりやすかった。わが標あずさ部長も落ち着いて「一步前進」の主題の元、評議会の様子などを報告した。

そして熊本にシクラブの岩本悟西日本区次期理事による熊本地震報告が行われ、参加者の目を覚ます。多くの

避難者がいる益城町の体育施設を管理する熊本YMCAの奮闘ぶりは、目をみはるものだった。

お待ちかねの「長野プレゼンツ」が始まる。まずは、天台声明(しょうみょう)。長野の善光寺は、天台宗と浄土宗の二つがそれぞれで活動しているという、他にない特殊な寺である。今回は長野クラブの福島会員が天台宗の僧であることから、声明の披露となった。8人の僧が、客席の背後から、いわゆる散華(さんげ、紙製の蓮の葉を撒く)をしながら登場。舞台上でも散華、声明は数人がユニゾンだったり、輪唱だったり、透明な歌声が響く。清澄な気分を満たされていく。最後も一人ずつ舞台から静かに去っていく。



次いで「絵解き」の口演。大きめの掛け軸に善光寺とその周辺、そして何十人かの人物が描かれている。本来は何本かの掛軸にいくつかの場面が描かれるのだが、今回は一枚の掛け軸。ただし絵解きをする場面を舞台上のスクリーンに拡大表示する。明治時代の「牛に引かれて善光寺参り」や、参詣人が少しの間だけ犬になった話、頼朝の参詣などの6話を、小林玲子氏と若い息子の竜太郎氏が交代で語る。前振り部分は普通の語り、話に入ると七五調にちょっと調子をつけて。全部で百ほどの話があるという。



最後は、アマチュアの吹奏楽団「夢」による、「信州に縁の曲をご一緒にうたいましょう」。歌詞カードも配られ、童謡や「信濃の国」を歌う。「どこかで春が」や「汽車ポッポ」を作曲した草川信や、「故郷」(兔追いしかの山)の作詞者高野辰之は、長野県出身。お年寄りに一部若い団員も混じって奏でられる曲はあたたかく、指揮者もゆったりしているところがいい。(石川博)

4日夜 晩餐会&和歌山クラブと懇親会

会場をホテルメルパルクに移し、晩餐会が始まった。まずは善光寺木遣り。「善光寺」の文字の入った法被姿の8人の男女が、本大会を寿ぐ文言を入れて歌い上げ、賑やかに盛り上げる。乾杯の音頭は利根川次期理事。

なんといっても異色だったのは、長野クラブの会員で善光寺玄証院住職の福島氏による「食前の祈り」。「われ今幸いに、仏祖の加護と衆生の恩恵によって、この清き食を受く。つつしんで食の来由をたずねて味の濃淡を問わず、その功德を念じて、品の多少をえらばじ。いただきます」と、皆で唱和した。

残念だったのは、テーブルのメンバーがすべて甲府クラブの会員だったこと。この機に他クラブの会員と交流をする場になれば、と思ったことだった。(石川)

東日本区長野大会に西日本区のと和歌山クラブから6人のメン・メネット(神谷尚孝・一恵、東正美、三木求・登代子、吉田絹恵)が参加しました。

田中司郎さんが甲府クラブ会長を務めて以来、和歌山クラブとのDBC関係が続いています。そして、大会の晩餐会後に同ホテルの4階で、甲府クラブから21人のメン・メネットも加わって、両クラブの懇親会を開催しました。

田中司郎さんからの挨拶のあとに、和歌山クラブ三木夫妻が、東日本区理事渡辺隆さんにプレゼンテーションをしました。「渡辺隆東日本区理事キャビネットの皆様1年間のご奉仕に感謝!」と「渡辺隆東日本区理事1年間のご奉仕に感謝!」のポスターを展示しながら、渡辺さんに夫婦箸セットを贈呈しました。

記念写真を撮影して、懇親会は終了しました。なお、来年4月頃に、名古屋近辺での交流会が計画されていますので、予定に入れておいて下さい。(ピーター)

5日 東日本区アワーII など

6月5日の東日本区アワーIIは、仙洞田書記の司会で始まりしました。4名の事業主任がそれぞれ1年間の事業報告を行いました。各事業の内容は多岐に渡るため、報告量は多いですが、パワーポイント等の画像を使って分かりやすく説明されていました。

続いては各表彰式を行いました。渡辺理事から表彰クラブの代表者の方々へ表彰状が渡されました。クラブ名が呼ばれると皆様は元気よく返事をして胸を張って登壇されました。会場は大きな拍手と和やかな雰囲気になりました。引継ぎ式も実施事項が盛り沢山でしたが、スムーズに進み、利根川新理事が所信表明を行い、渡辺現理事は感謝と退任のあいさつを行いました。

閉会式ではホストクラブ会長で大会実行委員長長の森本委員長がお礼の挨拶をしました。渡辺理事の閉会点鐘で、無事に第19回の東日本区大会は終了しました。(丸茂)

当日の舞台裏をちょっと紹介します

大会ステージ裏では、それぞれの場面でのピアノ、演台、椅子の出し入れのタイミング等、武田会員のリーダーシップの元、入念な準備が行われてきました。特に初日のバナーセレモニーが如何にスムーズに行えるかがポイントでした。時間がオーバーしてしまうと開会時間がずれ込むし、61クラブの会長がバナーを持って一堂に整列する時の並び方等の演出には骨が折れました。

部長・メネット委員長報告に於いても、前日の役員会終了後に、仙洞田書記の元に行った厳格なタイムキーパーによるリハーサル成果が表れていました。長野の地元色の効いた長野プレゼンツは、とても印象深い演出だったと思います。

最終日の表彰式は、タイムキーパーとしては、登壇してからの表彰者と渡辺理事との記念写真に、ことのほか時間が取られてしまった感がありました。その分各々のクラブのブリテン用に、皆さんとてもいい笑顔の写真が撮れたのではないのでしょうか。

長野クラブのメンバー全員が、森本会長を中心に一丸となって取り組んできたこの大会は、とても心に残る素晴らしい出来栄でした。皆様のご協力に感謝申し上げます。(二子石)

